

1F

(1) 温かみがあり多様な主体が集う空間整備①

壁面、床に木材を使用し、家具什器も木製のものも多く取り入れるなど、温かみがあり、居心地の良い空間に。

(2) 総合案内・受付カウンター①

相談・予約受付カウンターは奥（現在の図書コーナー）に移動し、印刷機・PC利用の手続きなどもスムーズに。

(3) 情報発信・提供機能の強化①

市民活動チラシや団体のニュースレターを並べて配架。（350～400件程度）スペースが足りない場合は、階段側も活用。

(4) 温かみがあり多様な主体が集う空間整備②

図書は、期間ごとに選んだもののみを1階に配架。固定本棚ではなく、キャスターつきなど移動ができる小型本棚を2～3か所に設置する。



多様な主体の交流や市民活動団体の取組み紹介につながるイベント、ショップの出店など、フレキシブルな運用が可能。

(5) 総合案内・受付カウンター②

貸室の鍵・備品等の貸し出しや、館内総合案内を行うカウンターを新設。
→学都仙台コンソーシアム事務室は7階へ



(7) 情報発信・提供機能の強化②

モニター等の設置により、館内の利用状況や市民活動団体等の情報発信・提供を強化。

(6) 温かみがあり多様な主体が集う空間整備③

常設のカフェを設置するには、調理設備や衛生面に関する整備を行う必要がある。また、近隣のカフェ出店状況やサポセンの利用者数などから、高い採算性は見込みにくい。
イベントの開催時には、コーヒースタンドや福祉事業所等による出店を行うことで、居心地の良さ新たな賑わいを創出する。

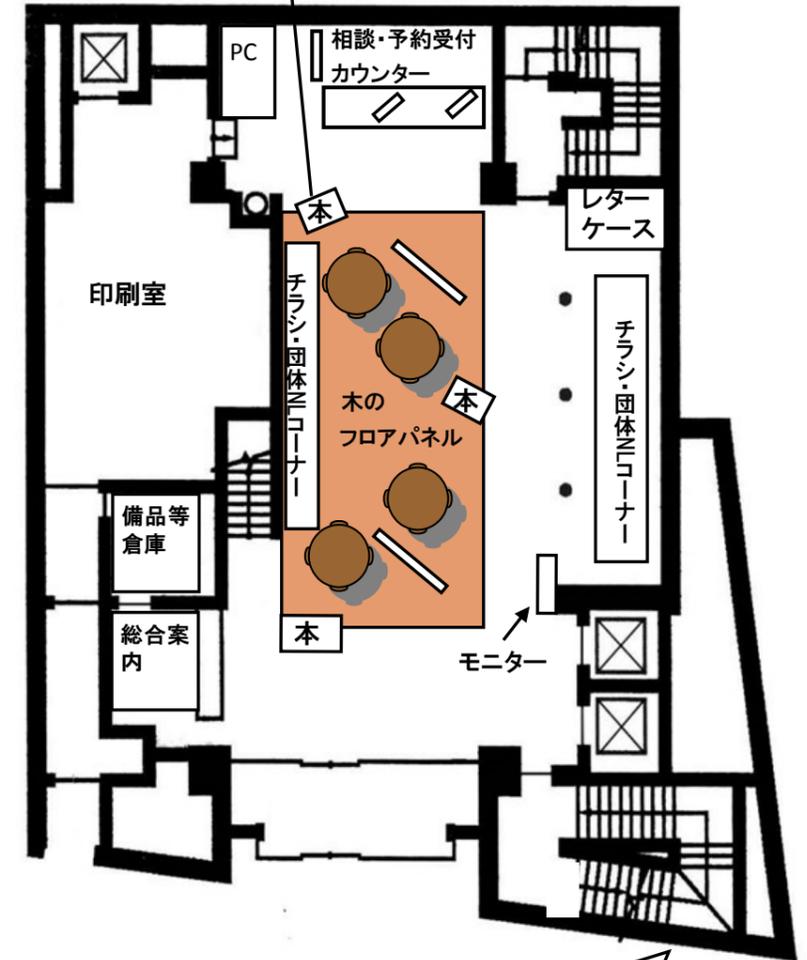


★(8) バリアフリー環境の整備等

高齢者・障害者の方もできるだけ快適にご利用いただけるよう、バリアフリー環境の整備とスタッフによるフォローを実施。

(9) 認知度・視認性の向上

外壁サインにLEDバックライトを設置し、視認性を向上。

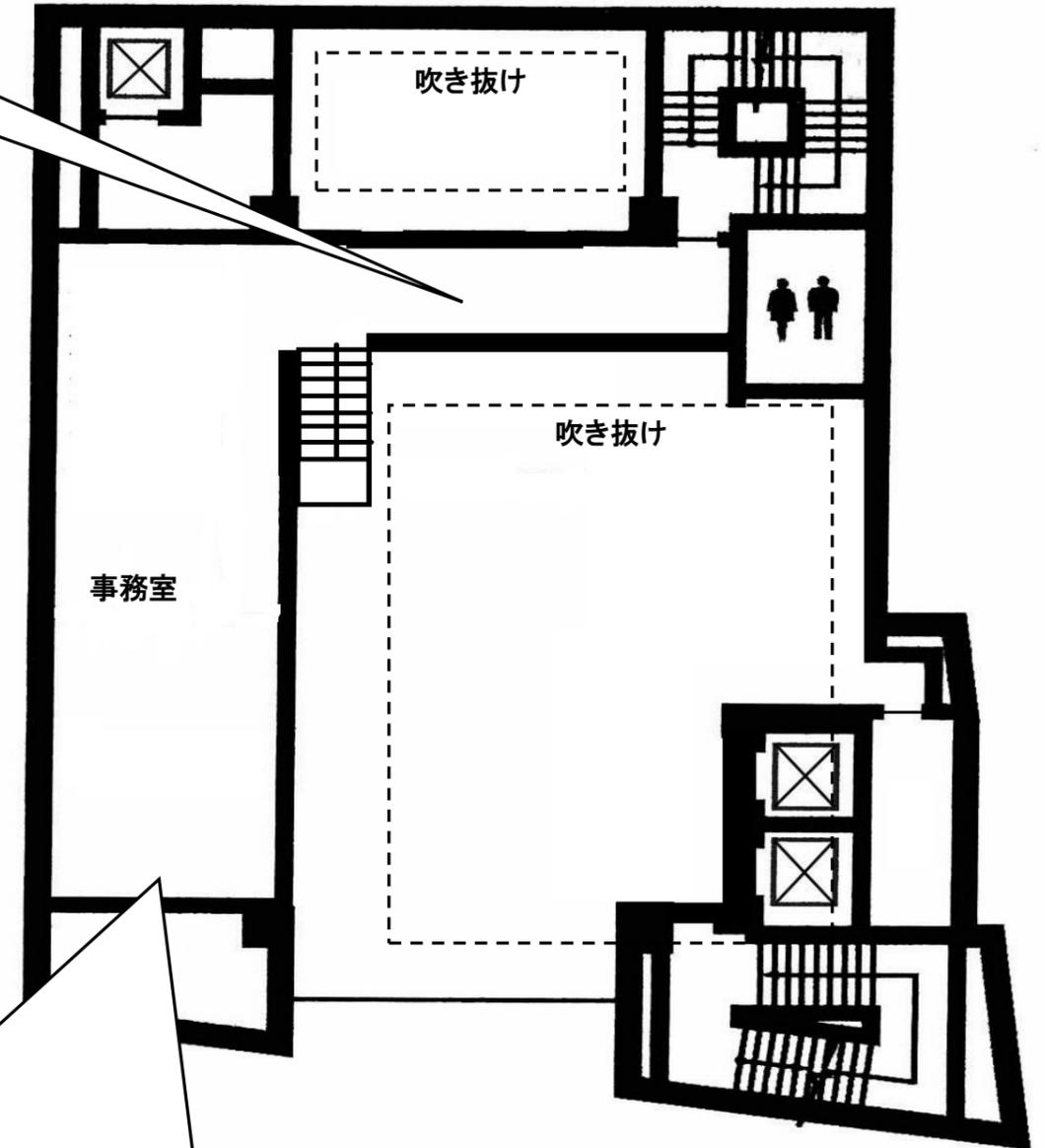


2F



(1)温かみがあり多様な主体が集う空間整備④
1階交流スペースと一体感のある雰囲気づくりのため、渡り廊下や事務室外観の緑化を行う。

2F



階段の危険箇所



階段と手すり



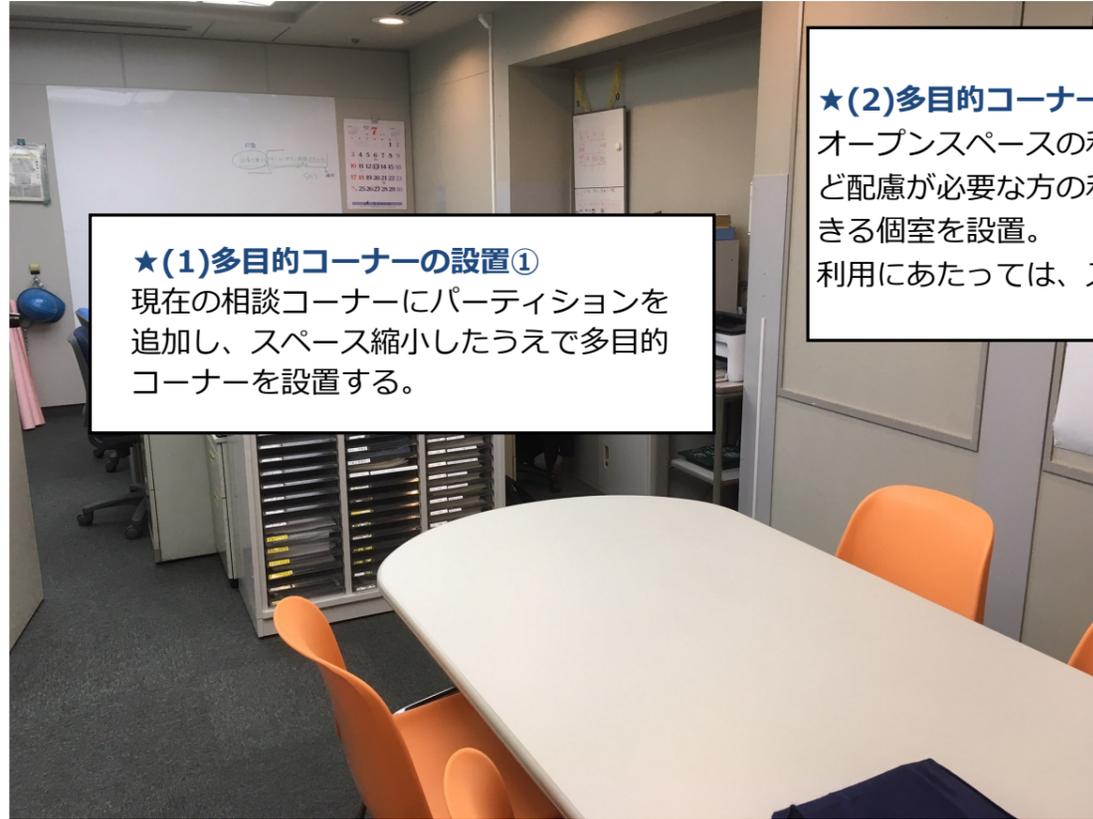
裏手エレベーターの開口部。
間口が狭く車いすの利用は難しい。

(2)事務室配置の考え方

本市では、公共施設等がすべてのひとにとって利用しやすいものとなるよう、「仙台市ひとにやさしいまちづくり条例」により施設整備基準を設定しているが、1階から2階に続く階段は整備基準を満たさず、エレベーターも利用できないため、バリアフリーや安全確保の観点から2階部分は市民利用には適さない。

また、2階以外に事務室を移動する場合、1階の窓口対応や入館者の状況等が容易に確認できなくなるなど、センターの管理運営上の課題がある。

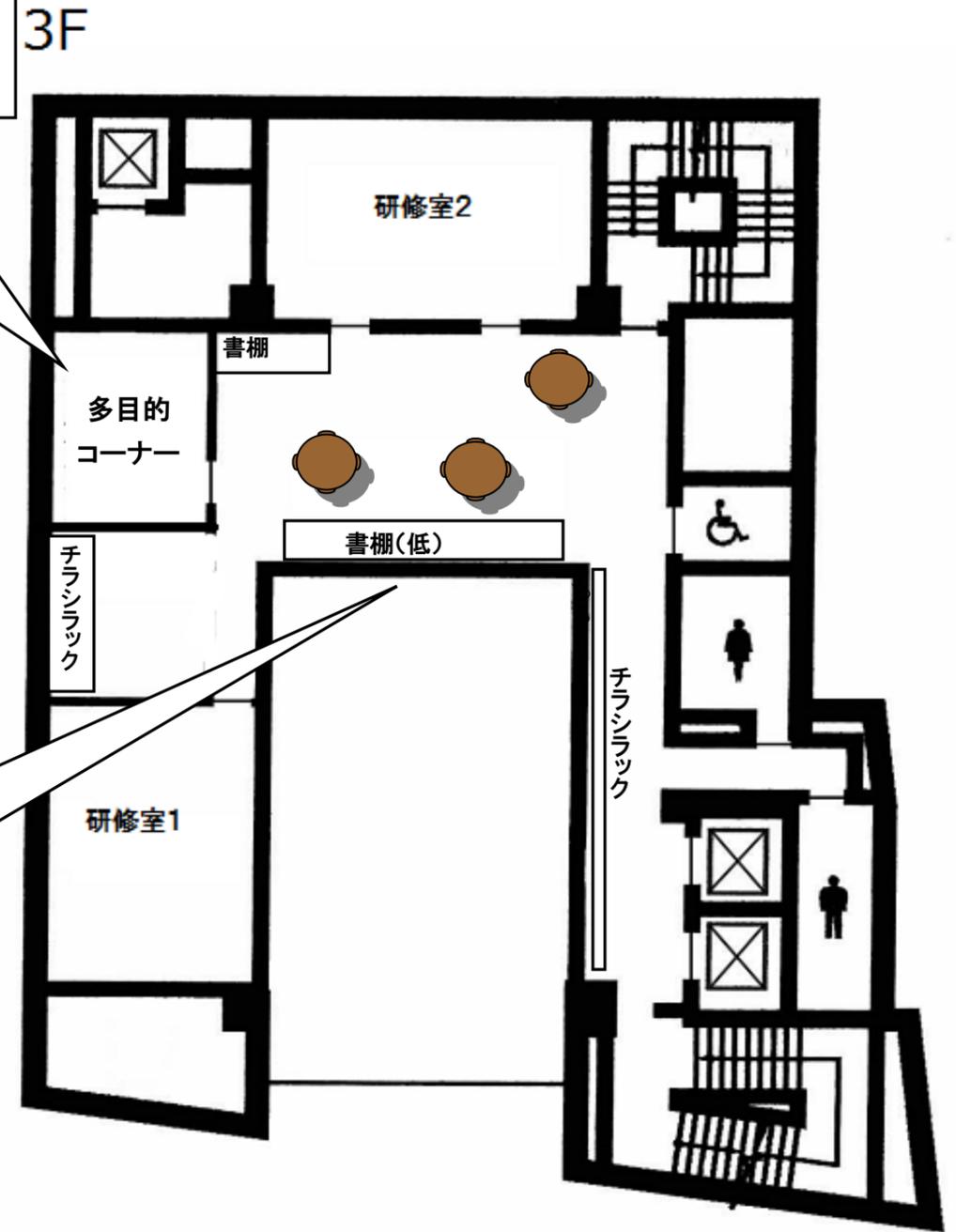
3F



★(2)多目的コーナーの設置②
オープンスペースの利用が難しい個別相談対応や、授乳など配慮が必要な方の利用等、状況に応じて様々な利用ができる個室を設置。
利用にあたっては、スタッフにお声掛けいただく。



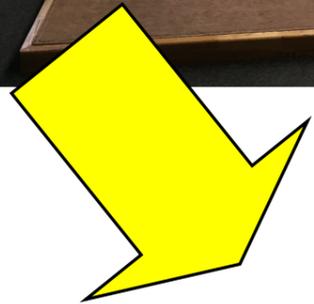
(3)温かみがあり多様な主体が集う空間整備⑤
1階から団体情報ファイル等を移動。



4F



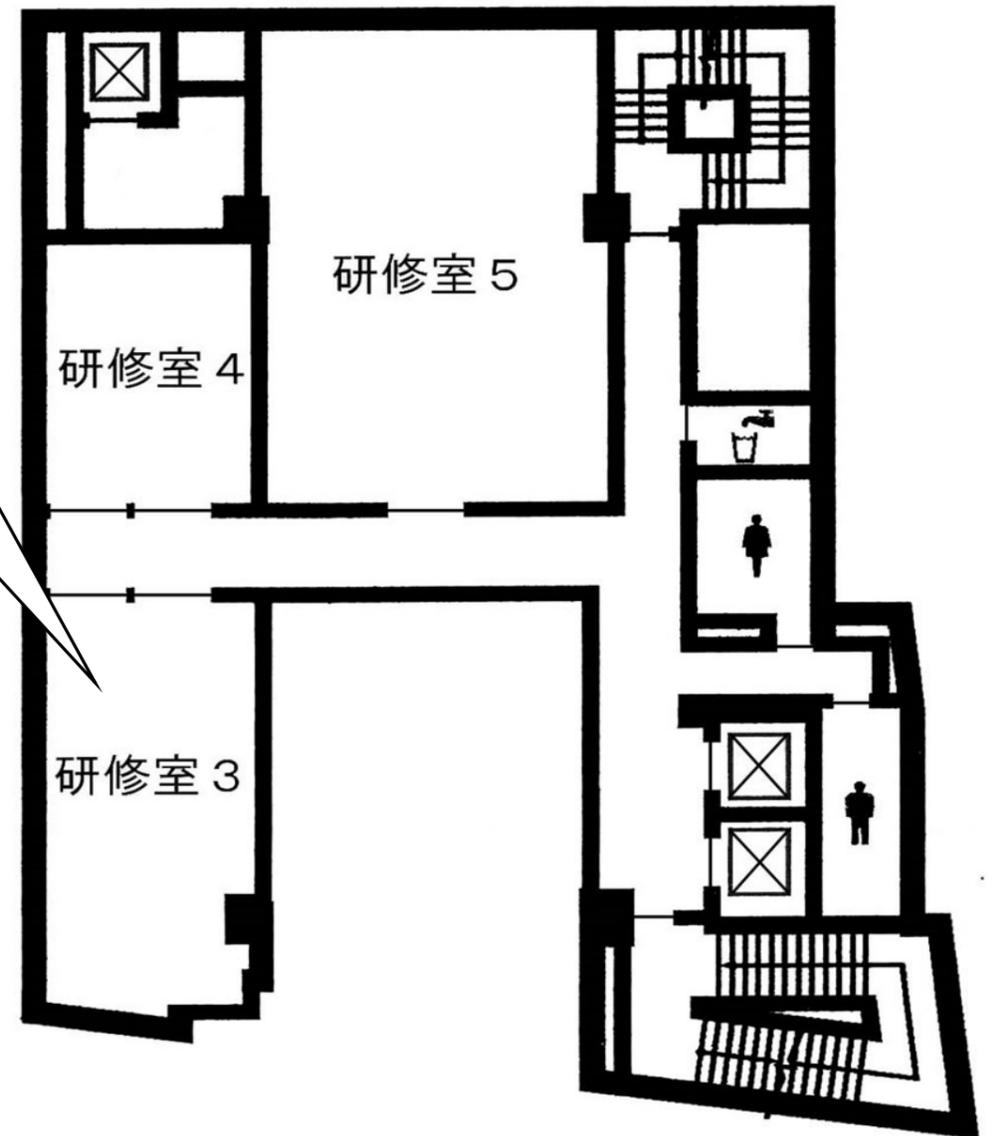
★(1)研修室3の変更
床面を全面土足禁止に改修し、託児室としても利用できる環境を維持しながら、高齢者を中心にニーズの高い座椅子を導入するなど、幅広い利用者により快適に使用いただける環境を整備する。これにより、使用率アップも期待できる。



改装後イメージ



4F



5F



現在の交流サロン



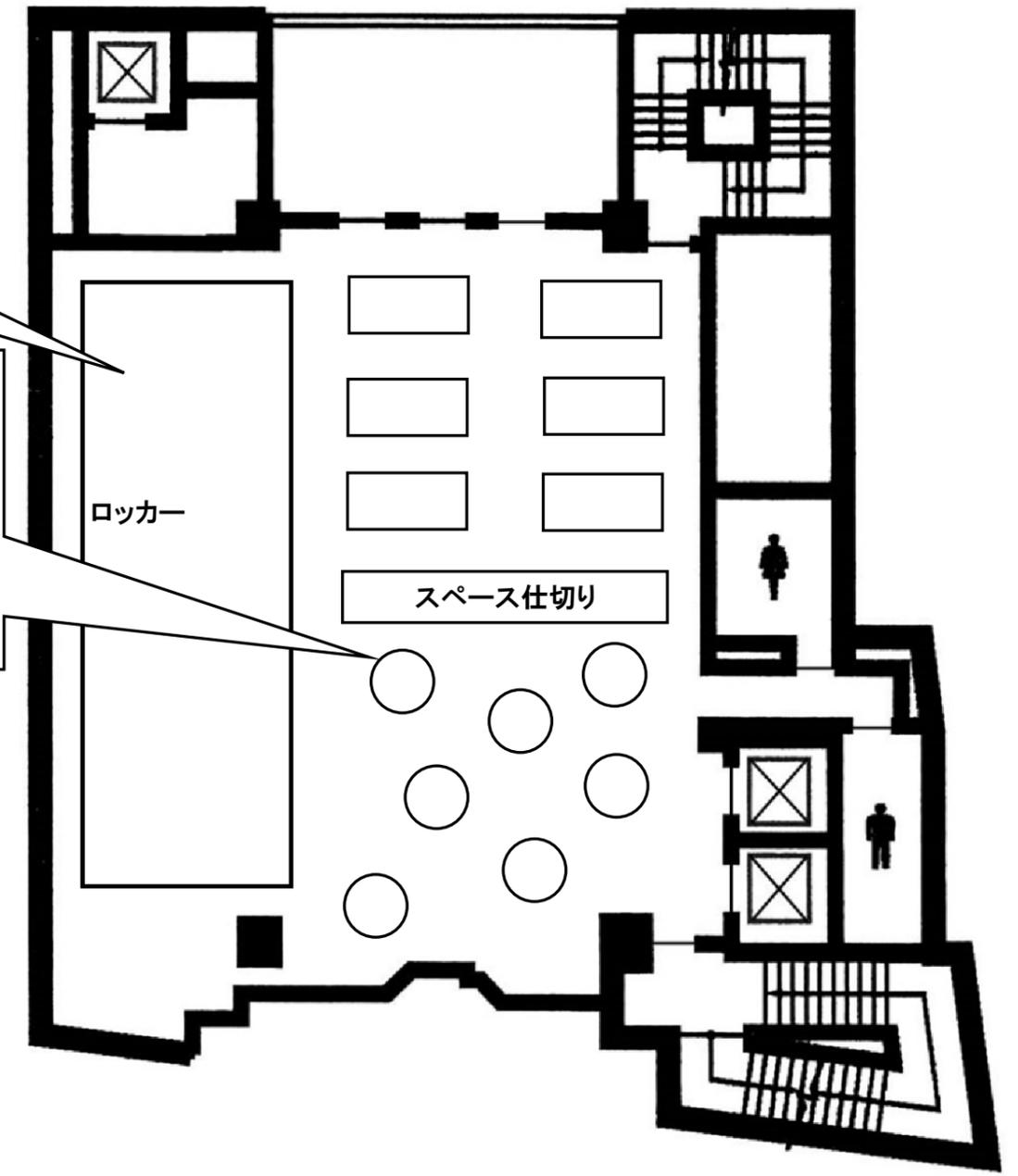
(1)交流サロンの充実①
利用者ニーズの高いロッカー（大）を増設する。

(2)交流サロンの充実②
ホワイトボードや組み換え可能なイス・テーブルなど、クリエイティブな思考や議論を助ける什器を設置。机の組み換えなどより自由に利用できるゾーンと、これまでのように落ち着いて打合せができるゾーンに分ける。
また、窓際など1~2人での作業がしやすい席も設ける。全60席程度。

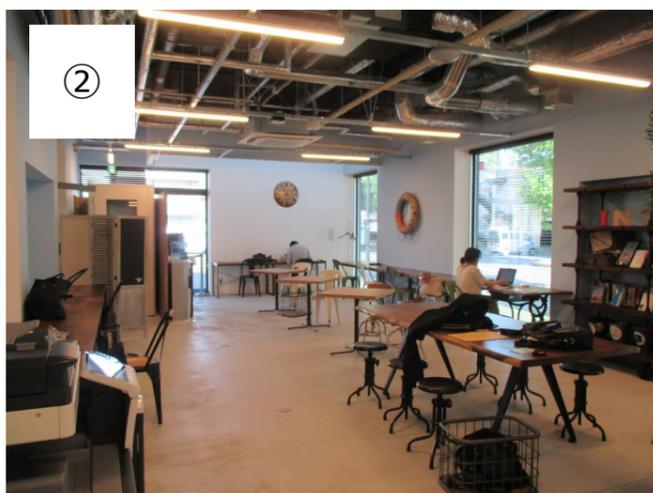
改装後イメージ参考

- ①、②INTILAQ 東北イノベーションセンター
- ③ 東北大学附属図書館 アクティブラーニングスペース

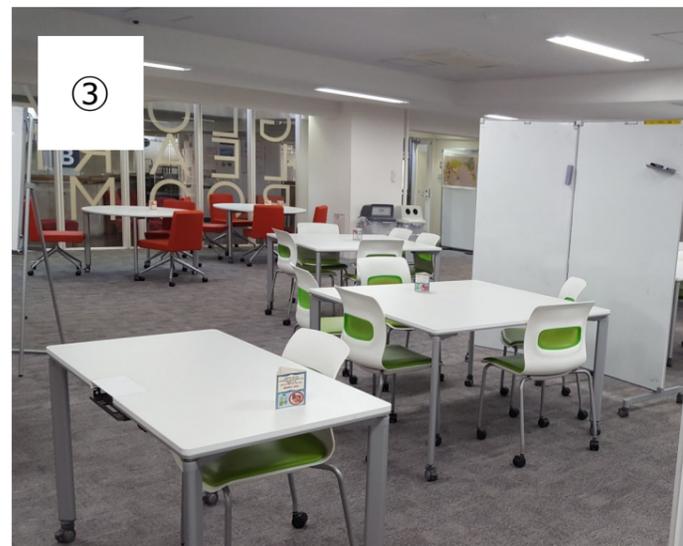
5F



①



②



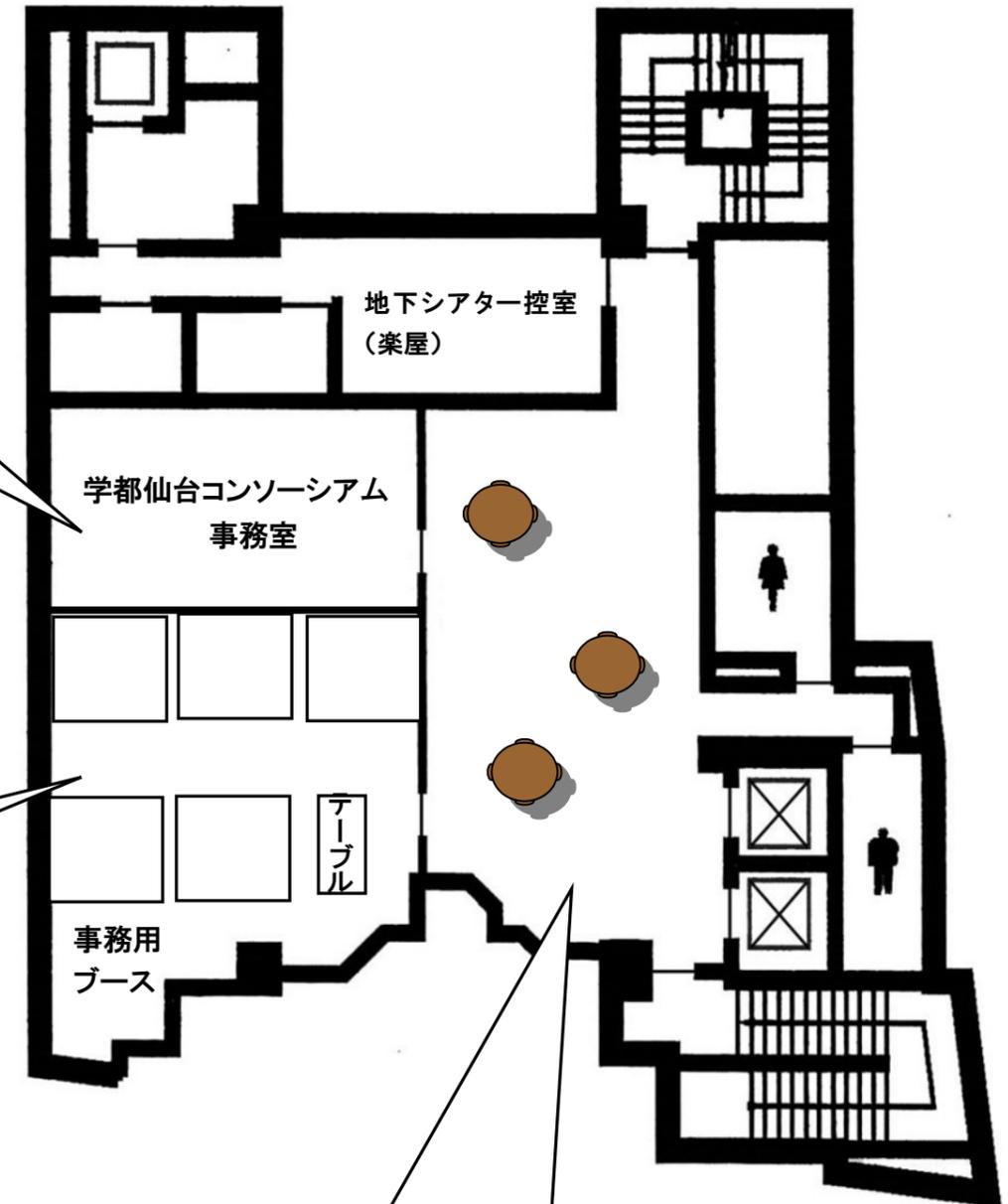
③

7F



(1)総合案内・受付カウンターの設置③
1階の総合カウンター設置により、学都仙台コンソーシアム事務室を移動する。

7F



★(2)事務用ブースの変更①
学都仙台コンソーシアム事務室の移動に伴い、暫定的にブース数を5に削減するが、今後の申込み状況等に応じて、スペースの拡大にも対応できるようにする。
経年劣化した什器の入れ替え等により、ブースの環境改善を図る。

★(3)事務用ブースの変更②
ブース利用団体向けの打合せスペースを設置し、利用団体間の交流を促進する。

